地域連携の推進について

自治体との連携

自治体と一緒に、地域住民の健康増進や地域づくりに関する活動を行っています。具体的な活動としては、「健康増進及び食育」「高齢者・障がい者及び子どもの支援」「スポーツ及び文化振興」「防災・災害対策及び防犯」「市町村政のPR及び観光振興」などです。今年度は太田市と包括連携協定を締結しました。

2024年現在　協定締結自治体

1県10市8町7村　計26自治体

東吾妻町（2021年2月）

●「地域社会づくり包括連携協定」

中之条町（2021年2月）

●「地域社会づくり包括連携協定」

高山村（2023年2月）

●「地域づくりに関する包括連携協定」

長野原町（2023年3月）

●「地域社会づくりに関する包括連携協定」

昭和村（2022年8月）


●「地域づくり連携協力に関する協定」

片品村（2022年9月）

●「地域づくりに関する包括連携協定」

みなかみ町（2021年2月）

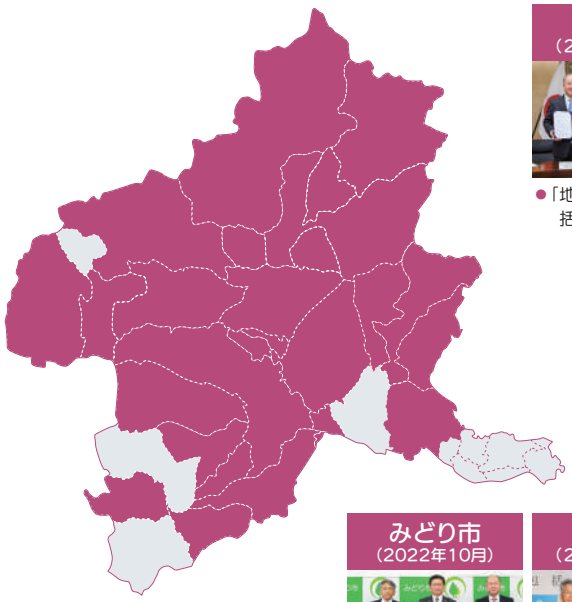
●「地域社会づくり包括連携協定」

渋川市（2018年6月）

●「連携協力に関する協定」

嬬恋村（2020年11月）

●「地域づくり連携協力に関する協定」



前橋市（2020年11月）

●「地域社会づくり包括連携協定」

沼田市（2019年3月）

●「連携協力に関する協定」

玉村町（2017年11月）

●「地域社会づくり連携に関する協定」

神流町（2023年8月）

●「地域社会づくりに関する包括連携協定」

川場村（2023年9月）

●「地域社会づくりに関する包括連携協定」

榛東村（2019年10月）

●「地域づくり連携協力に関する協定」

安中市（2018年8月）

●「連携協力に関する協定」

みどり市（2022年10月）

●「包括連携協定」

桐生市（2023年12月）

●「地域社会づくりに関する包括連携協定」

太田市（2024年10月）

●「包括連携協定」

※みどり市と桐生市と太田市の一部は両毛ヤクルト販売㈱様管内を含む

南牧村（2023年1月）

●「地域づくり連携協力に関する協定」

富岡市（2018年9月）

●「地域社会づくり連携協力に関する協定」

吉岡町（2020年7月）

●「吉岡町地域づくり連携協力に関する協定」

高崎市（2017年9月）

●「健康づくりの推進に向けた連携協力に関する協定」

高崎市（2021年12月）

●「包括連携に関する協定」

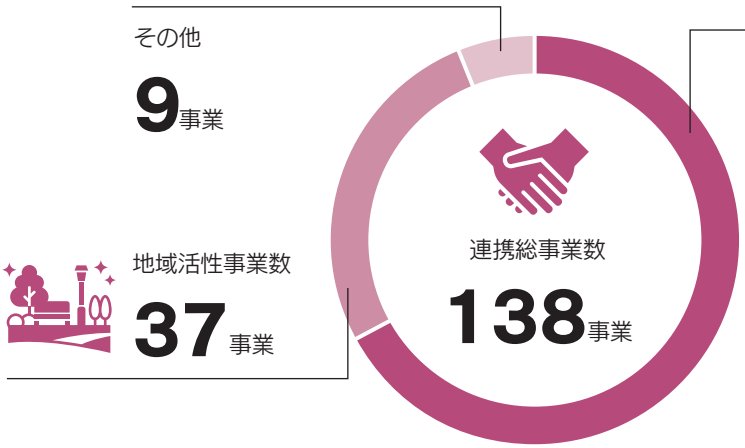
甘楽町（2019年7月）

●「地域づくり連携協力に関する協定」

藤岡市（2018年3月）

●「健康増進及び福祉向上に向けた連携協力に関する協定」

協定締結自治体における事業



交流人数
49,395名
※すべて延べ数


頑張る女性の健康セミナー（高崎市）

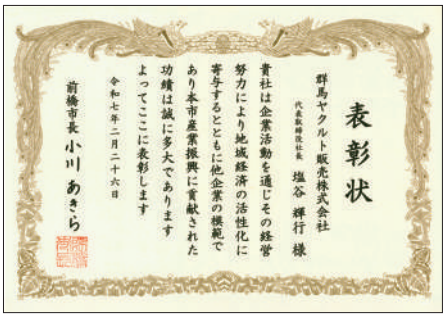

脳活塾（渋川市）


健康福祉まつり（川場村）

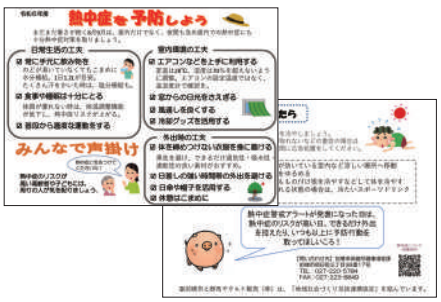
令和6年度　前橋市振興・社会貢献優良企業として表彰

「地域社会づくり連携協定」を締結している前橋市より、「地域住民の健康増進や、地域づくりに貢献している企業」として、表彰されました。表彰の際は、小川あきら 前橋市長がご来社くださり、塩谷社長へと表彰状が授与されました。





◆実施内容



ヤクルトスタッフによる熱中症対策チラシの配布


地域のこどものためのヤクルト子ども食堂の開催


高校生の「学び」と「仕事」のためのミライバシへ出展

健康経営優良法人2025（ブライト500）について

2020年度から「健康経営優良法人（中小規模法人部門）」に認定されています。健康経営優良法人とは、経済産業省の日本健康会議から、「地域の健康課題に即した取り組みや健康増進の取り組みをもとに、特に優良な健康経営を実践している」として認められた企業です。

健康経営優良法人 ブライト500とは？

健康経営優良法人（中小規模法人部門）の中から「健康経営優良法人の中でも優れた法人」かつ「地域において、健康経営の発信を行っている企業」として優良な上位500法人のことです。群馬ヤクルトは2021年度から、5年連続で認定されています。

2025 健康経営優良法人 KENKO Investment for Health 中小規模法人部門 ブライト500

認定基準

健康経営優良法人の中でも優れた企業であることを重視し、選択項目15項目中13項目以上適合していることを条件とする



以下のウエイトで配点し上位500法人を選定する

分類	ウエイト
健康経営の評価項目における適合項目数	6
健康経営の取り組みに関する自社からの情報発信	3
健康経営の取り組みに関する外部からの依頼による情報発信	1
PDCAに関する取り組み状況	8
経営者・役員の関与の度合い	2

健康経営活動の取り組み事例

◆なりたい自分になろう！90日チャレンジ！！

従事者が健康的にいきいきと活躍できるよう、管理栄養士による健康プログラムを実施しています。週に1度のチャレンジミーティングを開催し、自分に合った健康習慣を見つけ、実生活の中で挑戦・継続していただきます。昨年度に引き続き、日頃ヤクルトのお届けをしているヤクルトスタッフに対しマンツーマンで実施しました。

8期生2024年4月～7月



一人では難しかったダイエットも、目標を決めて出来ることから少しずつ始められました。「痩せる」とは無縁だと思っていたので、参加できてよかったです。これから維持できるように、生活していきたいと思います。

◆従事者向け健康セミナー

管理栄養士による、内勤従事者向けの健康セミナーも今年で8年目を迎えました。今回のテーマは「血圧と減塩について」で、高血圧予防のために、食事をとる上でのポイントをお伝えしました。管理栄養士メンバーで調理した「豚汁」は、1日の1/3の野菜を使用し、栄養たっぷりで参加した社員からも大変好評でした。



総務部による健康経営の説明



健康セミナー「血圧と減塩について」



野菜と肉のうまみたっぷりな「豚汁」

今回は初の試みとして、明治安田生命保険相互会社群馬支社様による、血管年齢測定、ベジチェック測定、最終糖化物質測定を行い、従事者の健康を振り返るよいきっかけとなりました。

